

船舶事故調査報告書

平成21年11月19日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 山 本 哲 也

委員 根 本 美 奈

事故種類	衝突
発生日時	不明（平成21年2月26日、13時30分ごろ～14時05分ごろ）
発生場所	<small>ふくやましはしりこうからふね</small> 広島県福山市走港唐船付近
事故調査の経過	平成21年3月12日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	A 漁船 <small>りょうだい</small> 良代丸、4.96トン HS3-31537（漁船登録番号）、個人所有 9.58m(Lr)×2.60m×0.91m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数70、昭和51年9月24日 B 漁船 <small>だいき</small> 大喜丸、1.87トン HS3-31977（漁船登録番号）、個人所有 6.75m(Lr)×1.95m×0.65m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数18、昭和55年1月10日
乗組員等に関する情報	A 船長A 男性 68歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許年月日 昭和51年6月25日 免許証交付年月日 平成16年11月11日 (平成22年3月28日まで有効) B 船長B 男性 72歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許年月日 昭和49年12月2日 免許証交付年月日 平成20年10月28日 (平成26年7月13日まで有効)
死傷者等	負傷 1人（船長B）
損傷	A なし B 左舷中央外板亀裂
事故の経過	A船は、船長Aが1人で乗り組み、平成21年2月26日13時25分ごろ、走島南東方沖の漁場を発進し、走漁港唐船に向けて航行した。 船長Aは、島伝いに航行し、進行方向左側にある走漁港唐船の防波堤灯台を左に見る、針路約215°とした後、B船の左舷と衝突した。船長Aは、操舵室後部の左舷側に立って操舵していたが、衝突までB船に気付かなかった。 B船は、船長Bが1人で乗り組み、13時30分ごろ、同港を出港した。

	<p>船長Bは、防波堤灯台を右に見て右回頭するときにA船に気付いた後、A船の船首と衝突した。船長Bは、A船に気付いた後、A船を見ていなかった。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 東、風速 約1.4m/s、視界 良好 海象：平穏、下げ潮の初期</p>	
分析	<p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>あり なし なし A船は、衝突するまでB船に気付かず、B船は、A船に気付いた後、衝突するまでA船に対する見張りを行っていなかった可能性があると考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、走港唐船2号防波堤沖において、A船が走漁港唐船に入港しようとして航行中、B船が同港を出港しようとして航行中、A船がB船に気付かず、また、B船がA船に対する見張りを行っていなかったため、両船が衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。</p>	